

平成 30 年 3 月期決算の概況について

平素から、かながわ信用金庫に格別のご愛顧を賜り、誠にありがとうございます。

取り急ぎではございますが、平成 30 年 3 月期決算の概況をお知らせいたします。

なお、詳細な計数等につきましては、今後、ディスクロージャー誌や業務報告書などでご報告いたします。

かながわ信用金庫は、これからもお客さまへの感謝の気持ちを決して忘れることなく、「強くてやさしい信用金庫」、「よろず相談承り信用金庫」になることを目指し、役職員一丸となって取り組んでまいります。今後とも、かながわ信用金庫をご愛顧賜りますようお願い申し上げます。

● 66 期連続で黒字決算となりました。

当金庫の決算は、本業による利益である実質業務純益は 1,640 百万円、経常利益は 498 百万円を計上しました。特別損益や税金などを加減した最終的な当期純利益は 707 百万円を計上し、66 期連続で黒字決算となりました。

	平成 30 年 3 月期	平成 29 年 3 月期	増減額(増減比)
実質業務純益	1,640 百万円	1,532 百万円	+107 百万円(+6.58%)
経常利益	498 百万円	923 百万円	△424 百万円(△45.96%)
当期純利益	707 百万円	484 百万円	+223 百万円(+46.10%)

● 自己資本比率は 7.30%となりました。

自己資本比率は、出資金・利益剰余金（毎年の利益の中から積み立てた内部留保）などの自己資本を貸出金などの資産に対してどのくらいの比率で保有しているかを示す計数で、金融機関の健全性を示す経営指標のひとつです。

国内のみで営業している信用金庫は 4%以上を求められていますが、平成 30 年 3 月期の当金庫の自己資本比率はこの基準を 3.30 ポイント上回りました。

● 預金積金残高が 166 億円、貸出金残高が 169 億円増えました。

地域の多くのお客さまのご愛顧をいただき、預金積金残高は前期から 166 億円増加して 10,376 億円となりました。

地域のお客さまのご資金の需要にお応えし、貸出金残高は前期から 169 億円増加して 5,165 億円となりました。

	平成 30 年 3 月期	平成 29 年 3 月期	増減額(増減比)
預金積金残高	10,376 億円	10,210 億円	+166 億円(+1.62%)
貸出金残高	5,165 億円	4,995 億円	+169 億円(+3.40%)

以上

本件に関するご質問は下記にて承ります。

かながわ信用金庫 経営企画部

〒238-0004 横須賀市小川町 7 番地

電話番号 046-826-1515

E-mail:kikaku@kanagawa-shinkin.co.jp